

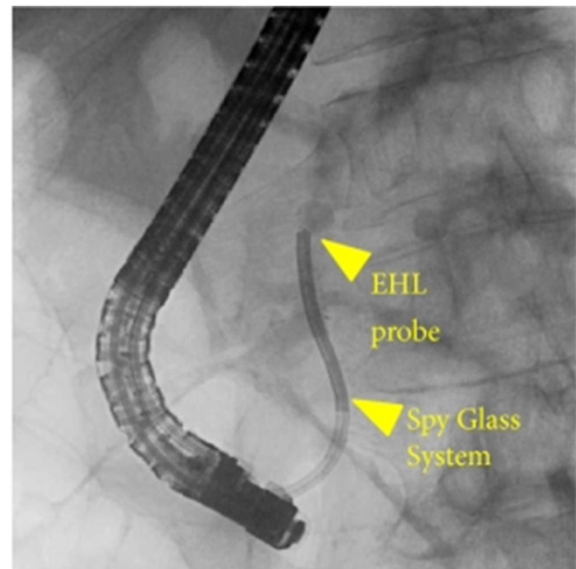


胆道鏡検査・総胆管結石の治療のご案内

胆道とは、肝臓から分泌された胆汁の通り道です。この部位に腫瘍や結石ができることにより黄疸などのさまざまな症状が起きてきます。胆道の治療検査にはERCP（内視鏡的逆行性膵胆管造影）が主に行われてきましたが、ERCPに胆道鏡を併用し直接胆道内を内視鏡で観察・治療をすることができるようになりました。



胆道鏡
Spy glass



(https://www.bostonscientific.com/jp-JP/products/direct-visualization-systems/SpyScopeDS_II.html より)

(Ken Ito, Seiichi Hara, and Kensuke Takuma: BioMed Research International / 2014 / Article より)

特に大きな胆管結石の治療に効果があり、開腹手術をしないと取り出すことができなかったような結石を胆道鏡とEHL（電気水圧衝撃波胆管結石破碎装置）を併用することにより、内視鏡治療で結石を破碎、除去できるようになってきました。当院でも**スパイグラスDS胆管・膵管鏡システム・胆管用EHL装置（ボストンサイエンティフィック社製）**を導入し積極的に胆道系の処置を行っております。治療を必要とする患者さんがおられましたらお気軽にご相談ください。 消化器内科 塩谷 康夫

寿泉堂総合病院では地域医療支援病院として病診連携を推進しています。

患者さんのご紹介や外来診療に関するお問い合わせ

寿泉堂総合病院 地域連携室

☎ 024-927-0760

（直通） または

☎ 024-932-6363

（代表） にお問い合わせします。